

第1回 小山分校学校運営協議会 記録

記録：松浦

■日時

令和7年5月20日（火）10:00～12:00

■出席者

【学校運営協議委員】

常葉大学保育学部 准教授	赤塚めぐみ 様
小山町区長会長	高橋 完二 様
小山町教育委員	湯山 伸彦 様
株式会社日立ハイテクアナリシス 富士小山事業所長	草野 年男 様
本校PTA会長	石橋 渉 様

【学校】

校長、副校長、部主事、教務課長

※長田孝代様（小山町住民福祉部社会福祉課 課長）、田代章様（小山町社会福祉協議会）は欠席

■議題 議長 湯山伸彦 様

1 校長挨拶

- ・北駿地区高校再編の話があった。小山高校は存続。
- ・小山高校との共生・共育も2年目。
- ・小山分校は特別支援教育を推進していく立場。どうする？という不安一方、わくわくも。

2 任命状交付

- ・校長より委員のみなさまへ

3 自己紹介

- ・学校職員→委員のみなさまの順で

4 学校経営計画について

- ・副校長より、経営計画、グランドデザインについて説明
- ・「守る」自分と人を大切にする、「育む」主体的に学びあう、「つなぐ」キャリア発達をつなぐ
- ・昨年度の分校の取組、小山高との取組、地域での活動
- ・グランドデザインは、「いっしょけんめいになにかができる人」の合言葉が底にあり、自己肯定感や自己有用感を育てていく→分校の教育目標、学校教育目標につながる

質疑は特になく、承認された

5 分校の教育について

- ・部主事より教育課程やこれまでの取組等について説明
- ・協議

〈2学年になったことによる変化〉

【湯山様】

- ・人数が2倍になったことで、変わったことは？
- 活気づいた。場所は狭くなった。2年生は先輩としての自覚が生まれ、1年生は先輩を見て学ぶことができている

〈作業製品の販売について〉

【湯山様】

- ・作業製品の販売は？
- 笙陵祭でコードクリップと巾着を販売予定だが、その後の予定はない。
- ・定期的に販売できるのか。できるのであれば、道の駅とかいろいろなものが売られているから、よいのでは
 - ・収益はどうなる？
- 収益をあげることはできない。大量生産が目的でもなく、ありがたいと言ってもらい達成感をもつことが大切
- ・収益があげられないと難しいですね。実社会で働く喜びはそういう側面もあるので。

〈小山高との昼食交流について〉

【草野様】

- ・小山高との昼食交流、会社でランチミーティングをやっても盛り上がらない。野放し的にやるといいかもしれない。ただ、社会に出たら同じ人との関わりばかりではないので、いい取組

6 授業参観

- ・1年生単、2年家庭の授業を参観
- ・参観後、意見交換

〈ICT機器の活用について〉

【草野様】

- ・みんなのびのび学習できていた。
 - ・スクリーンにうつしてアンダーラインを引き、操作したらパッと消えた。初めて見た。
- 電子黒板。ペンを使い分けている。
- ・ジャージの生徒と制服の生徒がいるのはなぜ？
- 自分のタイミングで着替えをしているため

【高橋様】

- ・日本はタブレット端末を使っでの学習機会が増えているが、ヨーロッパでは従来の学習方法に戻す動きもある。文字だけに戻したとき、生徒の反応はどうか？
- 特別支援学校高等部には教科書がない。ぴったり合うものがないから、教材を作る。
- ・その分先生も大変ということですね。

〈部活動について〉

【湯山様】

- ・部活はサッカーだけ？
- アート部もある。地域の行事や本校の行事に参加するために、ボランティア部という部もあり全員が所属している。

【高橋様】

- ・まだ対外試合はない？
- もくせい杯という大会が9月にある。今年は女子生徒も多く入った。さらにフットサルの大会も出場する予定。

【赤塚様】

- ・去年は初参加で優勝でしたね。

〈分校授業の、中学校への発信〉

【赤塚様】

- ・2年生はクラス全体の活気が出てきた。去年の緊張した感じから表情も自然になった。今日みたいな活気のある授業を、支援級の生徒も見学するといい。中学生にいいモデルになると思う。支援級も人数多いところはあるが、実態がいろいろで授業も難しさがある。分校の授業を見れば、保護者のビジョンも変わるだろう。中学校の先生も持ち帰れるものがたくさんありそう。保護者の体験談を披露する機会などあってもよさそう。

【石橋様】

- ・中学校段階で進路に悩んでいる保護者はたくさんいる。早い段階からたくさん見てほしい。環境の変化に弱い生徒が多いので、安心して入学できるように。学校では外への発信もしてくれていますね。

【部主事】

- ・先週、中学生、保護者、教員を対象に学校見学会を行った。47人の参加があり、好評であった。

【校長】

- ・ある学校では「この学校のどこがよかったか」を保護者に付箋に書いてもらい、ポスターにして行事のときに見てもらうという取組もしていた。

【湯山様】

- ・いろいろな機会に足を運んで、いろいろなご意見をください。

7 コンプライアンス委員会

- ・副校長より、人権教育計画、不祥事根絶の取組、防災についての備えの説明

